

真壁高生に剪定講習

県と
茨造協

後継者へ技術継承



水庭会長

県と県造園建設業協会（水庭博会長）は11日、県立真壁高等学校（石塚幸光校長）農業・環境緑地課環境緑地コースの2年生7人、3年生11人の計18人の

生徒を対象に、偕楽園公園センターにて梅の剪定講習会を実施した。

卓越した技術を持つ会員や、名工が剪定した梅の木を見本とし、剪定する枝の選び方や剪定のコツなどを伝えた。

水庭会長は「いつも教室の中で勉強されている方々だからこそ、偕楽園のよう

な日本三名園の一つに来て、自然の空気を味わってほしい。地元真壁に帰ったら、また普通の生活に戻ることになるが、必ずいい体験になると思う。怪我なく無理のないよう、よく先生たちの話を聞いて、学んでほしい」とあいさつした。

石塚校長は講習会に向け



名工に学ぶ生徒たち

「今日は精いっぱい頑張らせていたかくので、びしと話した。びし鍛えてあげてほしい」

生徒たちは4班に分かれて、狸々梅林（しよじょうばいりん）で実習を行った。

この講習会は今年で10回目。

後継者育成や人材確保の観点から造園を学ぶ高校生を対象に行っている。